

卓 話

平成 20 年 5 月 13 日

地区委員会に出向して

地区青少年委員会 故金正司委員長

皆さんこんにちは。地区に出向させて頂き、7年の年月となりました。これもひとえに皆様のお陰と感謝申し上げます。



初年度は服部パストガバナー年度で当時の臼井会長より、「たずさえの森」の活動実績を A 分区の IM で発表して欲しいとの指名を頂きました。この発表がすべてのきっかけとなり現在に至っています。地区委員会の役割として大切なことは 80 クラブへの活動方針の伝達と実行の促進です。テーマを決め 7~8 名の委員で活動のエリアを分担し各クラブの現場に落とし込むお手伝いをする事です。とても大切なことは年度の R.I.会長と地区のガバナーの活動方針に合わせた方向で活動することです。3 年前まで在籍致しました環境保全委員会は現在もこの流れを組み活躍中であります。今年度より青少年育成委員長に指名され市と県の教育委員会に中学校への「講師派遣と職場体験受入れ」の推進活動を始めました。お陰様で安藤会長や宮地会員にお手伝いを頂き、本荘中学校での成功事例を頂きました。2630 地区のホームページでも紹介済みのことです。先日も教育委員会の学校指導課と本荘中学校の進路指導課の先生より講演の依頼がありました。今回は 6 月 21 日（土）進路指導についての三者懇談会があるので、父兄と生徒、担任の先生を交えての中で話をして頂きたいとのことです。その他、長森中学校からも問合せを頂いているそうです。このような実証事例が多くなることは、ロータリークラブ活動として喜ばしいことであり、まさにロータリーの目的である社会奉仕であり、職業奉仕の成果をもって社会貢献につなげているわけです。

地区に出向させて頂き、多くのロータリアンと友情を深めることができました。これも中ロータリークラブの皆様のお陰と重ねて感謝致します。最後に気づいた事がひとつあります。職業奉仕を十分にさせていただいた上にロータリークラブの活動があることを。我社も現在一生懸命改革の真最中です。

御静聴ありがとうございました。